

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防)				補助・単独別		補助	建設部	砂防課
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
1	あきやま 秋山沢 あきやま 秋山 (川上村)	砂防堰堤工 2基 1号堰堤 H=11.0m L=82.0m 2号堰堤 H=12.5m L=61.0m (工期:H22~H29)	地形測量1式 詳細設計1式	用地測量1式 用地補償1式 管理用道路工1式	砂防堰堤工2基 1号堰堤 H=11.0m L=82.0m 2号堰堤 H=12.5m L=61.0m	必要性 A	2%	詳細設計が完了し、管理用道路工に着手する。	流域内は急峻な地形であり、脆弱なため山腹のいたるところで崩壊が生じている。下流域には保全対象である人家・公共施設・緊急輸送路(村道・県道)があり、保全の必要性は非常に高い。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
		9億円	1400万円	3000万円	8億8600万円	重要性 B	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=2.47 住民参加状況等 特になし。			
						効率性 A					
						緊急性 A					
2	にしまるまき 西丸沢 まきうえ 坂上 (北相木村)	砂防堰堤工 2基 1号H=6.5mL=31.0m 2号H=9.0mL=32.0m (工期:H21~H25)	用地測量1式 用地補償1式 工事用道路1式	1号堰堤工1基 H=6.5mL=31.0m	砂防堰堤工2基 1号H=6.5mL=31.0m 2号H=9.0mL=32.0m	必要性 A	7%	計画どおり進んでいる。 H22に用地補償を完了し、H23より本体工事に着手する。	渓流沿いには溪岸浸食・倒木が見られ、集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念される。保全対象には保育園、老人養護施設の要援護者施設もあることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
		3億円	1700万円	6000万円	2億8000万円	重要性 B	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=6.43 住民参加状況等 特になし。			
						効率性 A					
						緊急性 A					
3	せはやかわ 瀬早川 かみじく 上宿 (佐久市)	砂防堰堤工 3基 1号H=8.0m L=51.0m 2号H=8.0m L=58.0m 3号H=7.0m L=36.0m (工期:H15~H26)	2号砂防堰堤工 詳細設計 施設配置計画	2号砂防堰堤工 1基 H=8.0m L=58.0m	砂防堰堤工2基 1号砂防堰堤工 H=8.0m L=51.0m 2号砂防堰堤工 H=8.0m L=58.0m	必要性 A	35%	詳細設計が完了し、H23より堰堤工に着手する。	近年に災害が発生しており、地元要望が大変高い。 また、保全対象も多数あり必要性も高いため、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		7億8000万円	1000万円	6000万円	5億938万9千円	重要性 A	特記事項 2号堰堤工 H20~H21	B/C(費用対効果)=11.69 住民参加状況等 特になし。			
						効率性 A					
						緊急性 A					
4	ぶどうまき 武道沢 ぶどうはら 武道原 (佐久市)	砂防堰堤工 1基 H=10.5m L=52.0m (工期:H20~H25)	詳細設計 1式 用地測量 1式	用地測量1式 用地補償1式 付替道路L=350m	砂防堰堤工1基 H=10.5m L=52.0m 付替道路L=350m	必要性 B	21%	堰堤工、付替道路工の詳細設計が完了し、付替道路工に着手する。	平成19年8月の台風9号において、流域内の荒廃が進み、また倒木が多数存在することから、土石流の発生が懸念され、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
		2億円	2000万円	3500万円	1億5750万円	重要性 A	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=2.33 住民参加状況等 特になし。			
						効率性 A					
						緊急性 A					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防)			補助・単独別	補助	建設部	砂防課
----	--------	----------	---------------	--	--	--------	----	-----	-----

番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
5	おおぬまわ 大沼沢 くさた 黒田 (佐久市)	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=48.0m (工期:H22~H26)	地形測量 1式 詳細設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式 工事用道路 L=300m	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=48.0m 工事用道路L=300m	必要性 A	7%	計画どおり進んでいる。 詳細設計が完了し、H23より工事用道路工に着手する。	平成19年8月の台風9号において、流域内の荒廃が進み、また倒木が多数存在することから、土石流の発生が懸念され、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		2億円	1400万円	3000万円	1億8600万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=8.97				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
6	わごうまわ 和合沢 しんでん 新田 (上田市)	砂防堰堤工 2基 1号H=11.0mL=35.0m 2号H=12.5mL=46.0m (工期:H20~H24)	工事用道路 L=40m 用地補償 1式	砂防堰堤工 1号 H=2.0m L=35.0m	砂防堰堤工 1号H=9.0mL=35.0m 2号 H=12.5mL=46.0m	必要性 A	27%	計画どおり進んでいる。 工事用道路が完了し、H23より堰堤工に着手する。	平成18年7月の豪雨を含む近年の降雨により、流域の崩壊が進み、渓床には多くの不安定土砂が増加しているため、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	必要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
		3億円	3000万円	7000万円	2億1760万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=79.68				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
7	ひなたまわ 日向沢 はら 原 (長和町)	砂防堰堤工 2基 1号H=10.5m L=98.0m 2号H=6.0m L=62.5m (工期:H21~H26)	地形測量 1式 地質調査 1式 1号砂防堰堤詳細設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式 工事用道路工 L=500.0m	砂防堰堤工 2基 1号 H=10.5mL=98.0m 2号 H=6.0m L=62.5m	必要性 A	18%	1号堰堤詳細設計が完了し、用地測量、用地補償及び工事用道路工に着手する。	当流域は、不安定な渓床堆積物が多く、降雨時の土砂流出の危険性が高い。保全対象には、災害者要援護者施設(保育園)、小学校、国道142号があり砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		3億円	3000万円	3000万円	2億4700万円	重要性 A	特記事項 H22計画変更:地形測量及び堰堤詳細設計完了の結果、砂防堰堤数を3基から2基とする。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=18.52				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
8	うまかわ 白川 いりならもと 入奈良本 (青木村)	砂防堰堤工 1基 H=18.5m L=76.0m (工期:H13~H25)	砂防堰堤工 H=3.5m,L=38.8m	砂防堰堤工 H=5.0m,L=70.5m	砂防堰堤工 1基 H=6.5m,L=76.0m	必要性 A	63%	引き続き堰堤工の進捗を図る。	当流域は、渓床の不安定な堆積物が非常に多く、降雨時の土砂流出の危険性が高い。保全対象には、人家16戸、県道、観光施設があり砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」 「再評価」
		9億7000万円	1億8800万円	4800万円	3億5470万円	重要性 A	特記事項 H22再評価:コスト削減を図り見直して継続。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.21				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防)			補助・単独別	補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
9	(わばらにまきわ 桑原二沢 (わばら 桑原 (諏訪市)	砂防堰堤工 2基 北沢H=11.5mL=75.0m 南沢H=13.5m L=69m (工期:H20～H26)	用地測量 用地 補償 1式 工事用道路 L=100m	砂防堰堤工1基 南沢 H=7.0mL=62m	砂防堰堤工2基 南沢 H=13.5mL=69m 北沢 H=11.5mL=75m	必要性 A	19%	計画どおり進んでいる。 工事用道路が完了し、H23より堰堤工に着手する。	平成18年7月の豪雨により、山腹の一部で崩壊が発生し、今後の降雨により崩壊土砂が土石流化する恐れがあるため、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		4億円	5000万円	5000万円	3億2400万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=35.90				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
10	(まかいまわ 境沢 かわきし 川岸 (岡谷市)	砂防堰堤工 4基 1号H=5.5mL=69.0m 2号H=6.0mL=95.0m 3号H=5.5mL=92.2m 4号H=9.5mL=64.0m (工期:H14～H28)	付替道路L=250m 設計・調査 1式	4号砂防堰堤工 H=9.5m L=64.0m	砂防堰堤工 3基 1号H=5.5mL=69.0m 2号H=6.0mL=95.0m 4号H=9.5mL=64.0m	必要性 A	46%	計画どおり進んでいる。 付替道路が完了し、H23より4号堰堤に着手する。	平成18年7月の梅雨前線豪雨により流域が荒廃し、次期降雨により土石流発生の危険性が高い。保全対象には災害時要援護者施設や人家等、多数の保全対象があり、砂防堰堤工による土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性が高い。	「継続」
		6億円	3000万円	7000万円	3億2260万円	重要性 A	特記事項 3号砂防堰堤工:H14～H21				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=16.08				
						緊急性 B	住民参加状況等 地域住民との環境整備を予定。				

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防)			補助・単独別	補助	建設部 砂防課				
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
11	ヒライシ <small>さわ</small> 沢 間 <small>ました</small> 下 (岡谷市)	砂防堰堤工 4基 (ヒライシ沢) 砂防堰堤工2基 1号 H=9.0m L=59m 2号 H=10.5m L=58m (オモ入本沢) 砂防堰堤工2基 1号 H=9.5m L=105m 2号 H=10.0m L=65m [工期:H13~H28]	用地測量 1式 用地補償 1式	工事用道路 L=360m	オモ入本沢 砂防堰堤工2基 1号 H=9.5m L=105m 2号 H=10.0m L=65m	必要性	17%	計画どおり進んでいる。 砂防堰堤の詳細設計が完了し、H23からオモ入本沢工事用道路に着手する。	平成18年7月の梅雨前線豪雨による山腹崩壊のため、集中豪雨等により土石流が発生する危険性が高いため、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
						重要性						特記事項 ヒライシ沢 1号・2号砂防堰堤:H13~H20
						効率性						B/C(費用対効果)=8.79
						緊急性						住民参加状況等 特になし。
12	とかわ 砥川 やま 山の神 (下諏訪町)	渓流保全工 護岸工L=1,100m 床固工N=6基 [工期:H6~H23]	渓流保全工 護岸工L=25.0m	渓流保全工 護岸工L=11.0m	渓流保全工 護岸工L=11.0m	必要性	98%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き渓流保全工の整備を行い完了。	保全対象として家1359戸、国道20号、JR中央本線、下諏訪町役場等があり、災害時の周辺地域の防災機能確保の為に必要性、重要性は高い。また、近年の諏訪地域の災害状況を踏まえ、渓流保全工による土砂災害対策が必要であり、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性						特記事項 1工区:H6~H11 渓流保全工 護岸工L=510m床固工3基 2工区:H12~H17 渓流保全工 護岸工L=280m床固工2基
						効率性						下流部では、河川改修事業を実施し、砂防事業との連携を図っている。 B/C(費用対効果)=94.83
						緊急性						住民参加状況等 特になし。
13	ヨキトギ <small>がわ</small> 川 あんこ <small>くじ</small> 安国寺 (茅野市)	砂防堰堤工 1基 H=9.5mL=103.0m [工期:H22~H26]	測量調査設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工 H=9.5mL=103.0m	必要性	5%	計画どおり進んでいる。 H23は付替道路の測量、設計、一部用地補償に着手する。	当流域には、至る所で表層の崩壊が発生しており、それに伴い河床には不安定な土砂と倒木が多く存在している。保全人家が多く、土砂流出の際には更に第一次緊急輸送路(国152号)への交通遮断が予想されるため、直接被害のみならず、災害時の広域的な影響が予想されるため、速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性						特記事項 H22変更:測量詳細設計の結果、堰堤配置基数1基減。
						効率性						B/C(費用対効果)=18.81
						緊急性						住民参加状況等 特になし。

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防)				補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況					
14	しこくまわ 地獄沢 うえはらの原 (岡谷市)	砂防堰堤工 2基 1号 H=6.5mL=110.6m 2号 H=8.5mL=70.9m (工期:H22~H26)	測量調査設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工 2基 1号 H=6.5mL=110.6m 2号 H=8.5mL=70.9m	必要性 A	6%	計画どおり進んでいる。 H22は堰堤詳細設計が完了し、H23は用地測量及び用地補償に着手する。	平成18年7月豪雨災害の地域であり、流域内の荒廃は著しく、倒木も多数発生しており、降雨により土砂流出が懸念される。保全人家が多く、更に国道20号、災害時要援護者関連施設もあり、砂防堰堤による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」		
		2億5000万円	1400万円	2000万円	2億3600万円	重要性 A	特記事項 特になし。						
						効率性 A	B/C(費用対効果)=84.49						
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
15	きわいせわ 沢入沢 なかじょう 中奈 (伊那市)	砂防堰堤工 3基 1号H=6.0m L=26.0m 2号H=7.0m L=31.0m 3号H=6.5m L=67.0m 渓流保全工 護岸工 L=450m (工期:H19~H25)	2号砂防堰堤工 H=0.0m L=31.0m 管理用道路工 L=119m	2号砂防堰堤工 H=7.0m L=4.5m	2号砂防堰堤工 H=7.0m L=4.5m 3号砂防堰堤工 H=6.5m L=67.0m 渓流保全工 L=450m	必要性 A	30%	H23は2号堰堤完成を目指す。	土石流による不安定土砂が多く堆積しており、今後の降雨による土砂流出が懸念される。平成16年10月の台風23号による土砂流出では、流下した流木が伊那市街で水路を塞ぎ被害を出していることから、速やかな対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」		
		3億2000万円	5000万円	5000万円	2億2300万円	重要性 A	特記事項 H22変更: 崖岸侵食防止のため渓流保全工250m増。						
						効率性 A	1号堰堤工:H19~H21 B/C(費用対効果)=10.39						
						緊急性 A	住民参加状況等 「砂防等維持管理ボランティア活動支援事業」により、砂防施設の草刈り等地域住民が実施。						
16	しちめんざわ 七面沢 おんしょうじょう 遠照寺上 (伊那市)	砂防堰堤工 1基 H=9.5m,L=56.9m 渓流保全工 護岸工 L=137m 床固工 1基 (工期:H20~H24)	砂防堰堤工 H=4.0mL=35.0m	砂防堰堤工 H=5.5mL=56.9m	砂防堰堤工 H=5.5m,L=56.9m 渓流保全工 護岸工 L=137m 床固工 1基	必要性 A	56%	計画どおり進んでいる。 引き続き堰堤工の進捗を図る。	平成18年7月の豪雨により、下流市道への土砂流出が発生するとともに、流域の荒廃が進んでいるため、砂防堰堤工等による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」		
		2億5240万円	8000万円	5000万円	1億1000万円	重要性 A	特記事項 国重要文化財の釈迦堂が、保全対象となっている。						
						効率性 A	B/C(費用対効果)=8.37						
						緊急性 A	住民参加状況等 地元関係者を含む景観検討委員会を設置し、施設設計に住民が参加している。						

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防)			補助・単独別	補助	建設部	砂防課
----	--------	----------	----------------	--	--	--------	----	-----	-----

番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
17	あおしみずかわ 大清水川 ふるやしき 古屋敷 (伊那市)	砂防堰堤工 2基 1号H=7.5m L=75.6m 2号H=10.0m L=50.0m (工期:H21~H25)	測量・調査・設計、用地測量 1式 用地補償 1式	1号砂防堰堤工 H=7.5m L=75.6m 付替道路工 L=60m	砂防堰堤工 2基 1号 H=7.5mL=75.6m 2号 H=10.0mL=50.0m	必要性 A	18%	計画どおり進んでいる。 H22は用地補償が完了し、H23は1号堰堤に着手する。	平成16,18年の豪雨により流域が荒廃し、災害のポテンシャルが高まっている。基礎調査の結果も特別警戒区域内に人家が多く(20戸)、集中豪雨等により土石流発生が懸念されるため、砂防堰堤による土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		2億7000万円	3200万円	6000万円	2億2100万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=5.05				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
18	まえぎかわ 前沢川 にしほろちか 西春近 (伊那市)	砂防堰堤工 1基(災関) H = 14.5m L=77.1m 堆積工L=77.5m 土石流導流工L=60m (工期:H18~H24)	堆積工 L=77.5m	付替道路工 L=60m	付替道路工 L=160m	必要性 A	85%	H23より付け替え道路工に着手する。	平成18年7月豪雨による土石流災害の復旧工事であり、堆積工等による速やかな土砂災害対策が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		6億4637万6千円	8380万円	6000万円	1億円	重要性 A	特記事項 堰堤工:H18(災関) 土石流導流工:H21				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.93				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
19	したまがわ 下間川 なかざわ 中沢 (駒ヶ根市)	砂防堰堤工 8基 下間川本川 1号H=6.5mL=75.0m 2号H=5.5mL=72.0m 3号H=5.5mL=42.0m 4号H=6.5mL=72.0m 下間川支流永見山川 5号H=9.0mL=64.0m 6号H=6.0mL=41.0m 7号H=7.5mL=50.0m 8号H=7.0mL=38.0m (工期:H7~H24)	7号砂防堰堤工 H=7.5m L=50.0m 管理用道路工 L=450m	8号砂防堰堤工 H=4.0m L=28.0m	8号砂防堰堤工 H=7.0m L=38.0m	必要性 A	96%	計画どおり進んでいる。 H22年度7号堰堤が完成し、H23年度に8号堰堤工事に着手する。	多数の人家や公共施設等が保全対象であることから必要性は高い。また、近年の災害を踏まえ砂防堰堤工による土砂災害対策が必要である。	必要性が認められる。	「継続」
		13億5480万円	6000万円	3000万円	6000万円	重要性 B	特記事項 H21変更: 永見山川支川に、新たに砂防堰堤を1基追加。 H22変更: 事業内容精査した結果事業費9千5百万円増。工期3年短縮。				
						効率性	1号砂防堰堤工:H12~H14 2号砂防堰堤工:H15 3号砂防堰堤工:H13~H14 4号砂防堰堤工:H10~H11 5号砂防堰堤工:H17~H18 6号砂防堰堤工:H19 7号砂防堰堤工:H21~H22				
						緊急性 B	B/C(費用対効果)=2.30 住民参加状況等 特になし。				

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防)			補助・単独別		補助		建設部	砂防課
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
20	あなやぶの 穴山川 さわそ 沢底 (辰野町)	砂防堰堤工 3基 1号(災関) H=10.5mL=65.0m 1号付替道路L=300m 2号(特緊) H=7.0mL=34.0m 3号(通常) H=7.0mL=49.0m (工期:H20~H24)	測量、調査、設計 1式	3号堰堤付け替え 道路工 L=300m	3号堰堤工 H=7.0m L=49.0m 3号堰堤付け替え 道路工 L=300m	必要性 A	49%	計画どおり進んでいる。 3号堰堤の詳細設計が完了し、3号堰堤付け 替え道路工に着手する。	平成18年7月の豪雨で 土砂流出が発生し、平 成21年8月にも土石 流が発生しており、砂 防堰堤工による早急 な土砂災害対策が必要 である。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」	
		2億2000万円	2000万円	4000万円	1億1160万円	重要性 A	特記事項 H22変更:災関事業、特緊事業実施により事業費1億3千万円減、 工期2年減。 H21年8月台風9号により、土砂流出したことから、1号堰堤工は H21災関対応、2号堰堤工はH22~H23特緊対応、1号堰堤付け 替え道路と3号堰堤工は通常対応とする。					
						効率性 A	1号砂防堰堤工:H21(災関) 2号堰堤工:H22~H23(特緊) B/C(費用対効果)=5.28					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
21	げん、ほたけ 源ヶ洞沢 きたわり 北割 (宮田村)	砂防堰堤工 1基 H = 14.5m L = 84m 渓流保全工 護岸工L=120m 付替道路工 L=340m (工期:H21~H26)	用地測量・用地補 償 1式	付替道路工 L=150m	砂防堰堤工 H = 14.5m L = 84m 渓流保全工 護岸工L=120m 付替道路工L=340m	必要性 A	13%	H22は用地補償が完了し、H23年度は付替道 路工に着手する。	当流域は、S58、H11 に土石流災害が発生 しており、流域の荒廃 は著しく、渓床には多 くの不安定土砂と倒木が 存在している。砂防 堰堤による早急な土 砂災害対策が必要で ある。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」	
		3億円	2000万円	3000万円	2億6060万円	重要性 A	特記事項 H22変更:溪岸侵食防止のため渓流保全工120m増。 B/C(費用対効果)=8.60					
						効率性 A						
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
22	うわぶさかわ 上穂沢川 みなみわり 南割 (駒ヶ根市)	砂防堰堤工 1基 H = 8.0m L = 51.0m (工期:H22~H26)	調査・測量・設計 1式	用地測量・用地 補償 1式 工用道路工 L=250m	砂防堰堤工 H = 8.0m L = 51.0m	必要性 A	7%	H23年度は用測・用補・工用道路工に着手 する。	当流域は、多くの崩壊 地があり、渓床には不 安定な土砂と倒木が 存在する。保全対象に は中央自動車道、宿 泊施設もあり平成18 年7月豪雨災害以降、 地元からの土砂災害 対策への要望も強く、 速やかな施設整備が 必要である。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」	
		2億円	1400万円	1300万円	1億8600万円	重要性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=11.61					
						効率性 A						
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名 8 砂防事業費(通常砂防)				補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
23	どういりがわ 堂の入川 どういり 堂の入 (根羽村)	砂防堰堤工 2基 1号 H=14.0m L=69.0m 2号 H=13.5m L=64.0m 既設堰堤リフレッシュ (スリット化) H=14.0m L=70.0m (工期: H16~H25)	付替道路工 L=130m	2号砂防堰堤工 H=1.0m L=51.5m	砂防堰堤工 2号H=13.5m L=64.0m 既設堰堤リフレッシュ (スリット化) H=14.0m L=70.0m	必要性 A	60%	計画どおり進んでいる。 2号堰堤の付替道路工事が完了し、2号堰堤 に着手する。	重要交通施設が保全 対象に存在し、近年、 災害も発生していること から、早急な対策が 必要である。	必要性、緊急性が認め られる。	「継続」	
		重要性 B				特記事項 1号堰堤: H16~H20						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=1.85						
		緊急性 A				住民参加状況等 特になし。						
24	くみのかわ 栗野川 くみの 栗野 (根羽村)	砂防堰堤工4基 1号 H=14.0mL=95.0m 2号H=11.0mL=64.0m 3号 H=9.0m L=56.0m 7号 H=7.0m L=22.0m (工期: H19~H25)	3号砂防堰堤工 H=1.5m L=58.0m	3号砂防堰堤工 H=7.5m L=35.4m	砂防堰堤工 3基 1号 H=14.0mL=95.0m 2号 H=11.0mL=64.0m 3号 H=9.0m L=56.0m	必要性 A	36%	引き続き3号堰堤工の進捗を図る。	根羽村の簡易水道施設 が保全対象に存在し、 近年災害も発生して いることから早急な 対策が必要である。	必要性、緊急性が認め られる。	「継続」	
		重要性 B				特記事項 7号堰堤: H21						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=2.85						
		緊急性 A				住民参加状況等 「砂防等維持管理ボランティア活動支援事業」の活用を含め、地 域の方々に参加された維持管理体制づくりを進めていく。						
25	しんぼろ 辛抱洞 おおしまさん 大島山 (高森町)	砂防堰堤工 3基 1号堰堤(辛抱洞) H=10.0m,L=40.0m 2号堰堤(鷹の沢) H=10.0m,L=66.0m 3号堰堤(袈裟ヶ洞) H=10.0m,L=45.0m (工期: H22~H27)	1号砂防堰堤詳 細設計 一式	1号砂防堰堤工 H=5.0mL=32.0m	砂防堰堤工 3基 1号堰堤 H=10.0m,L=40.0m 2号堰堤 H=10.0m,L=66.0m 3号堰堤 H=10.0m,L=45.0m	必要性 A	4%	計画どおり進んでいる。 詳細設計が完了し、H23に堰堤工に着手す る。	当流域は、荒廃が激し く、渓流内には不安定 な土砂が多く堆積して いると共に倒木も多 い。次期降雨により流 木と土砂の流出が懸 念される。保全対象に は災害時避難所、防 災施設もあり早期の土 砂災害対策が必要で ある。	必要性、重要性、緊 急性が認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 特になし。						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=9.95						
		緊急性 A				住民参加状況等 特になし。						
26	しおたさわか 塩田沢川 たつえ 龍江 (飯田市)	砂防堰堤工 1基 H=10.0m,L=50.0m 渓流保全工 護岸工L=100.0m (工期: H22~H24)	砂防堰堤詳細設 計 一式	砂防堰堤工 H=4.0mL=40.0m	砂防堰堤工 H=10.0mL=50.0m 渓流保全工 護岸工L=100m	必要性 A	9%	計画どおり進んでいる。 詳細設計が完了し、堰堤工事に着手する。	当流域は、渓岸浸食 が著しく、渓流内には 多くの倒木が存在す る。保全対象には緊急 輸送路(飯田富山佐久 間線)があり、土砂流 出時には保全対象へ の直接的な被害のみ ならず広域的影響 が懸念されたため、速 やかな土砂災害対策が 必要である。	必要性、重要性、緊 急性が認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 特になし。						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=7.15						
		緊急性 A				住民参加状況等 特になし。						

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名 8 砂防事業費 (通常砂防)				補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
27	うめくほまわ 梅の久保沢 こほま 小道木 (飯田市)	砂防堰堤1基 砂防堰堤(災関) H=6.0m L=38.0m 山腹工 かご枠工(災関) 一式 植生工 A=1,500m2 (工期:H22~H23)	砂防堰堤1基 H=6.0m L=38.0m 山腹工 かご枠工一式	山腹工 植生工 A=1,500m2	山腹工 植生工 A=1,500m2	必要性 B	91%	計画どおり進んでいる。 災関砂防堰堤が完了し、植生工に着手する。	当該溪流は急勾配河川で、崩壊後の不安定土砂についてはH22災害関連緊急砂防事業により対応済みであるが、崩壊斜面は今後の降雨により更に浸食し土石流が発生する懸念があることから、崩壊地の整備を行い、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 砂防堰堤:H22災関					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=5.34					
			1億1080万円	1億80万円	1000万円	1000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
28	えんぼら 蛸洞 よこかわど 横川度 (飯田市)	砂防堰堤工 1基(災関) H=13.5m L=27.0m 土石流堆積工(特緊) L=26.4m 土石流堆積工(通常) L=26.4m (工期:H21~H23)	土石流堆積工(特緊) L=26.4m	土石流堆積工(通常) L=26.4m	土石流堆積工(通常) L=26.4m	必要性 B	91%	これまでに、災関砂防堰堤が完了し、土石流堆積工をH22より着手した。H23も引き続き土石流堆積工の事業進捗を図る。	平成21年8月の豪雨による土石流災害の復旧事業であり、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要であり、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 砂防堰堤工:H21 災関					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=5.90					
			1億7100万円	4900万円	2700万円	2700万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
29	せんじょうりまきわ 干置敷沢 こわき 小脇 (上松町)	砂防堰堤工 1基 H=9.5mL=44m 渓流保全工 護岸工L=240m (工期:H21~H24)	調査、測量、設計 1式	渓流保全工 護岸工L=150m	砂防堰堤工1基 H=9.5mL=44m 渓流保全工 護岸工L=240m	必要性 A	13%	計画どおり進んでいる。 H22は詳細設計完了し、H23に渓流保全工に着手する。	流域には巨大な転石が多く見られ、また近年の降雨により溪床の不安定土塊も増加しており、今後の集中豪雨等による土砂流出が懸念される。保全対象には緊急輸送路もあり、速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 同一地域内での急傾斜地崩壊対策工事との工事進捗の調整を図りながら事業実施。 H23変更:堰堤下流の溪岸浸食防止のため、渓流保全工を増工する。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=16.60					
			1億5000万円	1000万円	5000万円	1億3000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防)			補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
30	たほりがな 田の洞沢 ひらとち 平栃 (木曽町)	砂防堰堤工 1基 H=11.0m L=58m 渓流保全工 護岸工L=235m 床固工 8基 (工期:H18~H24)	渓流保全工 護岸工L=66m 床固工 3基	渓流保全工 護岸工L=90.0m 床固工 1基	渓流保全工 護岸工L=169m 床固工 5基	必要性 B	70%	計画どおり進んでいる。 本堤が完了し、引き続き渓流保全工を実施する。	流域の荒廃が激しく、土石流の発生への恐れが高い。平成16年10月の台風23号による土砂流出では住宅にまで及ぶ被害が発生していることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		3億9000万円	6000万円	6500万円	1億1562万4千円	重要性 A	特記事項 砂防堰堤工:H18~H21					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.20					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
31	つぼかわ 坪川 ただち 田立 (南木曽町)	砂防堰堤工 2基 1号 H=11.5m L=55.0m 3号 H=10.0m L=121.0m 渓流保全工 護岸工L=381m 3号床固工 (工期:H14~H24)	1号砂防堰堤工 H=2.5m L=55.0m	1号砂防堰堤工 H=9.0m L=36.0m	1号砂防堰堤工 H=9.0m L=36.0m	必要性 A	81%	引き続き1号砂防堰堤工を実施する。	流域は荒廃しており、渓床は巨石が不安定土塊として堆積するなど、土石流の危険性が高いため、事業実施の必要がある。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
		9億230万円	6000万円	6500万円	1億7000万円	重要性 A	特記事項 3号堰堤工:H14~H15 渓流保全工:H16~H21					
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.16					
						緊急性 A	住民参加状況等 隣接するキャンプ場との連携を図り、そこに皆が集い楽しめる川づくりを目指し、地域の方々に参加される維持管理体制づくりを進めていきたい。					
32	いわとさわ 岩戸沢 ぬまた 沼田 (南木曽町)	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=70.0m (工期:H22~H26)	調査、測量、設計 1式	工用道路工 L=150m	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=70m	必要性 A	7%	計画どおり進んでいる。 H22に調査等を実施。H23に用地買収を行い、工用道路工に着手する。	当流域は、荒廃が激しく、渓床には多くの倒木と、不安定な土砂が多く堆積している。平成16年台風23号の際には、地域の避難も実施されており、住民の不安解消の為に、早急な土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		2億7000万円	1900万円	5000万円	2億5100万円	重要性 B	特記事項 特になし。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.51					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防)				補助・単独別		補助		建設部	砂防課
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況					
33	まきさわ 桜沢 あらまち 新町 (木曽町)	砂防堰堤工 1基 H=14.5m L=55.0m	調査、測量、設計 1式	砂防堰堤工1基 H=9.0mL=30m	砂防堰堤工1基 H=14.5mL=55m	必要性 A	9%	計画どおり進んでいる。 H22に調査等実施し、H23に用地買収及び 工事に着手する。	流域の荒廃が激しく、 土石流の発生の恐れ が高い。保全対象に は、19号、JR中央西 線、木曾警察署があ り、砂防堰堤工によ る速やかな土砂災害 対策が必要である。 平成26年度事業完了 に努める。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」		
		重要性 A				特記事項 特になし。							
		効率性 A				B/C(費用対効果)=6.87							
		緊急性 A				住民参加状況等 特になし							
34	あなたまわ 穴田沢 ほら 原 (松本市)	土石流堆積工 L=94m	用地測量、用地 補償1式	土石流堆積工 L=85m	土石流堆積工 L=94m	必要性 A	41%	用地補償完了。H23は工事に着手する。	本溪流の下流には人 家23戸があるものの、 砂防施設等が未整備 であるため、土石流 による被害が懸念され るため、土石流堆積工 による早急な土砂災害 対策が必要である。	予定工期内での完了 を図る。	「継続」		
		重要性 A				特記事項 特になし。							
		効率性 A				B/C(費用対効果)=10.77							
		緊急性 A				住民参加状況等 特になし。							
35	うしぶせかわ 牛伏川 うしぶせ 牛伏 (松本市)	山腹工 A=32ha (林相転換)	山腹工 A=13ha (林相転換試験施工) 伐採工 N=2,000本	山腹工 A=13ha (林相転換) 伐採工 N=2,000本	山腹工 A=13ha (林相転換) 伐採工 N=2,000本	必要性 A	9%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き林相転換を実施する。	当流域は、過度重 なる災害のため明治 初期から土砂災害対 策がとられてきた。上 流域の森林を健全な ものとし土砂流出抑制 の為、林相転換が必 要である。	必要性が認められ る。	「継続」		
		重要性 B				特記事項 H19まで実施した林相転換の手法をH20に検証した結果に基づ き、H21より「まき枯らし」の手法を取り入れ林相転換を実施してい る。							
		効率性 A				B/C(費用対効果)=2.39							
		緊急性 B				住民参加状況等 下流の砂防施設の維持管理を既に地域で行っている。 今後は上流林相転換施業地への参加についても地域との協働 を目指す。							
36	なかせわ 中沢 しんでん 新田 (松本市)	砂防堰堤工 2基 1号(災関・特緊) H=9.0mL=84m 2号(通常) H=10m、L=58m 溪流保全工 護岸工L=130m 床固工 4基	溪流保全工 護岸工L=30m	付替道路工 L=200m	2号砂防堰堤工 H=10.0m,L=58m 付替道路工 L=200m	必要性 A	32%	計画どおりに進んでいる。 これまでに1号堰堤工、溪流保全工が完了 し、H23から2号砂防堰堤工に着手する。	平成18年7月豪雨による 土石流災害の復旧 工事であり、砂防堰堤 工等による速やかな 土砂災害対策が必要 である。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」		
		重要性 B				特記事項 H22 計画変更 荒廃の著しい中沢本川へ砂防堰堤工追加。 事業費2億5千万円増。工期延長4年。 1号堰堤工 H18 災関 溪流保全工 H19～H21 特緊							
		効率性 A				B/C(費用対効果)=32.19							
		緊急性 A				住民参加状況等 特になし。							

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名		8 砂防事業費 (通常砂防)		補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
37	かいはら 海岸寺沢 ひがしきりばら 東桐原	砂防堰堤工 1基 H=12m、L=149m (工期:H22~H26)	流域調査 1式	環境調査 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工 H=12m、L=149m	必要性 A	7%	H23は現地測量、環境調査を実施し、詳細設計を行う。	当流域の荒廃は激しく、渓床には不安定な堆積物が多く存在している。保全人家も多く、県道、公民館、観光施設が保全対象に含まれ、地元要望も高い為、速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
	(松本市)	2億円	1400万円	1400万円	1億8600万円	重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 近隣にて、猛禽類の飛翔、貴重植物が確認されているため、今後流域の環境調査を実施し、その結果により対応を検討する。 B/C(費用対効果)=16.28 住民参加状況等 特になし。					
38	かわりかわ 川鳥川 またあ 北小野	砂防堰堤工 1基 H=10m、L=80m (工期:H21~H25)	測量設計 1式 地質調査 1式	用地測量 1式 用地補償 1式 付替道路工 L=250m	砂防堰堤工 H=10m、L=80m	必要性 A	12%	計画どおり進んでいる。 H23は付替道路工に着手する。	当流域は平成18年に土砂流出が発生すると共に、流域の荒廃が進み、渓床には不安定な土砂が多く堆積し、渓岸浸食も著しい。次期降雨により土砂流出の危険性が高く保全対象の災害時要援護者施設(保育園)、中学校があり砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。	「継続」	
	(塩尻市)	2億円	2000万円	3000万円	1億7550万円	重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=22.03 住民参加状況等 特になし。					
39	ふじあきわがわ 富士尾沢川 とよと 豊里	土石流堆積工 L=230.1m (工期:H19~H24)	付替道路工 L=320.0m 土石流堆積工 L=25m	土石流堆積工 L=20m	土石流堆積工 L=205m	必要性 A	58%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き土石流堆積工の進捗を図る。	花崗岩のマサ化は広範囲に及び、流域内には多くの不安定土砂が存在しているため、土石流堆積工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
	(安曇野市)	3億3000万円	1億4000万円	4500万円	1億3700万円	重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 治山事業連携箇所 B/C(費用対効果)=5.18 住民参加状況等 事業への関心が高く、地域参加型の維持管理体制(土砂撤去及び除草)を模索中である。					
40	くろさわがわ 黒沢川 くろさわ 黒沢	【第2期工事】 渓流保全工 L=1,670.0m 床固工 4基 (工期:H15~H23) 【全体】 砂防堰堤工 H=7.5m、L=186m 床固工 3基 渓流保全工 L=1,670m 床固工 4基 (工期:H7~H23)	渓流保全工 L=160.0m 床固工 1基	渓流保全工 L=110.0m	渓流保全工 L=110.0m	必要性 A	95%	計画どおり進んでいる。 渓流保全工L=1,560mが完成し、H23は更に110mの整備を行い完了する。	流域は地質的にも脆弱であり渓床堆積物の流出が懸念されるため速やかな土砂災害対策の整備が必要である。また、保全対象には災害時要援護者施設、観光施設があるため重要性が高く、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
	(安曇野市)	9億8284万4千円	1億2900万円	4500万円	4500万円	重要性 A 効率性 B 緊急性 B	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=1.22 住民参加状況等 事業への関心が高く、地域参加型の維持管理体制(土砂撤去及び除草)を模索中である。					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
41	こはら沢 みなみおくら 南小倉 (安曇野市)	砂防堰堤工 3基 1号H=7.0mL=41.0m 2号H=9.0mL=43.0m 3号H=7.0mL=40.0m (工期:H22～H27)	測量 1式 詳細設計 1式 地質調査 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工 3基 1号 H=7.0mL=41.0m 2号 H=9.0mL=43.0m 3号 H=7.0mL=40.0m	必要性 A	8%	計画どおり進んでいる。 調査設計が完了し、H23は用地測量、用地補償を実施する。	流域は地質的にも、脆弱であり渓床堆積物の流出が懸念されるため速やかな土砂災害対策の整備が必要である。また、保全対象には主要地方道及び避難施設があるため重要性が高い。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		3億円	2500万円	3000万円	2億7500万円	重要性 A	特記事項 特に無し					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.35					
						緊急性 A	住民参加状況等 事業への関心が高く、地域参加型の維持管理体制(土砂撤去及び除草)を模索中である。					
42	ちかわ 乳川 あかたに 乳川谷 (大町市)	砂防堰堤工 1基 H=13.0m L=140.0m 林道付替工L=800.0m 既設砂防堰堤スリット化 1基 (工期:H11～H25)	既設砂防堰堤スリット化 張コンクリート工	既設砂防堰堤スリット化 H=2.0m	既設砂防堰堤スリット化 H=6.2m	必要性 A	91%	計画どおり進んでいる。 H22は張りコンクリートの補強が完了し、H23はスリット化を実施する。	保全対象人家が多数あり必要性が高い。また、過去の災害発生を踏まえ地域要望も強い。既設堰堤のスリット化について、段階的な施工方法をとってあり現在、その影響について調査中である。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
		15億9000万円	8000万円	3000万円	1億4195万2千円	重要性 A	特記事項 砂防堰堤工:H11～H16					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.40					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
43	はつとく 八徳沢 やまだま 山田町 (大町市)	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=54.0m (工期:H20～H24)	砂防堰堤工 1基 H=0m L=54.0m 工事用道路 L=120m	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=32.0m 管理用道路 L=170m	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=32.0m 管理用道路L=170m 植生工 1式	必要性 A	34%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き砂防堰堤工の進捗を図る。	平成16年10月の台風23号による豪雨では、市道及び人家に土砂が流出しており、また、平成18年7月の豪雨でも渓床及び溪岸の浸食も進んでいるため、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		2億7000万円	6000万円	1億3300万円	1億7850万円	重要性 A	特記事項 特になし。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=11.34					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
44	ぬのびきわ 布引沢 わて 上手 (大町市)	砂防堰堤工 2基 1号H=10.0m L=61.0m 2号H=8.0m L=67.0m (工期:H21～H25)	調査・測量・設計 1式	砂防堰堤工 1号H=0.0m L=50.0m 工事用道路 L=1300m	砂防堰堤工 2基 1号H=10.0m L=61.0m 2号H=8.0m L=67.0m	必要性 A	16%	計画どおり進んでいる。 詳細設計が完了し、1号堰堤工に着手する。	平成16年7月の集中豪雨時には土砂が流出しており、また渓流沿いは浸食崩壊が見られ、渓床堆積物の増加もすすみ土石流の発生が懸念されることから砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		3億5000万円	3000万円	6000万円	2億9500万円	重要性 A	特記事項 特になし。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.06					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名 8 砂防事業費(通常砂防)				補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
45	裏の沢 池ノ平 (大町市)	砂防堰堤工 2基 1号H=11.0m L=57.0m 2号H=12.0m L=70.0m	1号砂防堰堤工 魚道工 1式	2号砂防堰堤工 詳細設計	2号砂防堰堤工 H=12.0m L=70.0m	必要性 A	70%	計画どおり進んでいる。 1号堰堤工が完了し、2号堰堤工の詳細設計 に着手する。	流域は脆弱な第三紀 層で崩壊浸食、倒木 が著しく、早期に対策 を実施する必要がある。 。	重要性が高く、必要 性も認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 H21 計画変更:全体計画を見直し、山腹工に代わり2号堰堤を追加、事業費5千万円増。 1号堰堤工:H18~H22						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=3.58						
		緊急性 B				住民参加状況等 魚道の維持管理は、地元の犀川漁業組合で行う。						
46	ひがし 日影沢 三本木~新 山 (千曲市)	砂防堰堤工 1基 1号H=6.0mL=31.5m 溪流保全工 護岸工L=440m	1号堰堤工 H=4mL=20.0m	1号堰堤工 H=2mL=31.5m	1号砂防堰堤工 H=2mL=31.5m 溪流保全工 護岸工L=440m	必要性 A	17%	計画どおり進んでいる。 引き続き1号堰堤の事業進捗を図る。	平成16年10月の台風 23号では、下流の河 道が閉塞し、学校施設 等へ氾濫した。また、 近年の降雨により溪 流内では極端な浸食・ 堆積が見られるため、 渓床及び溪岸の安定 化を図る施設整備を 早急に実施する必要 がある。	重要性が高く、必要 性も認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 特になし。						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=8.00						
		緊急性 B				住民参加状況等 特になし。						
47	たきいり 滝の入 こまば 駒場 (高山村)	砂防堰堤工1基 H=9.0m L=119.0m	砂防堰堤工 H=0.0m L=43.8m	砂防堰堤工 H=6.5m L=105.0m	砂防堰堤工 H=6.5m L=105.0m	必要性 A	77%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き堰堤工の進捗を図る。	流域の地質は脆弱で あり、平成16年10月 の台風23号による土 砂流出も認められ、今 後の集中豪雨等による 土石流の発生も懸念 されることから、速や かな土砂災害対策が 必要であり、H23完了 を図る。	平成23年度での完了 を図る。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 特になし。						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=3.99						
		緊急性 A				住民参加状況等 工用道路の除草、除雪等は地元のボランティアにより実施す る予定。						
48	くぼかわ 久保川 くぼ 久保 (高山村)	砂防堰堤工2基 1号H=9.5mL=102.0m 2号H=8.5mL=49.0m	1号堰堤設計 1式	2号堰堤設計 1式	砂防堰堤工2基 1号 H=9.5mL=102.0m 2号 H=8.5mL=49.0m	必要性 A	11%	H22は1号堰堤の詳細設計が完了し、H23は2 号堰堤の詳細設計に着手する。	近年の降雨により溪 床の不安定土塊も増 加してきているため、 砂防堰堤工による速 やかな土砂災害対策 が必要である。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」	
		重要性 B				特記事項 特になし。						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=46.54						
		緊急性 A				住民参加状況等 特になし。						

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
49	おおひかげさわ 大日影沢 にしゅう 西条 (長野市)	砂防堰堤工 2基 1号 H=14.5m L=85.0m 2号 H=9.0m L=40.0m (工期:H20~H24)	測量・設計 1式	測量設計 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工 2基 1号 H=14.5m L=85.0m 2号 H=9.0m L=40.0m	必要性 A	13%	遅れている。計画見直し中。	平成16年10月の台風23号により、山腹の崩壊等が発生し、平成18年7月の豪雨により更に荒廃が進んでいるため、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		4億円	900万円	2000万円	3億5000万円	重要性 B	特記事項 公図混乱区域が判明し、用地境界確定が困難となり、計画の変更が必要となった。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.10					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
50	あさかわ 浅川 しんこうじ 真光寺 (長野市)	砂防堰堤工 2基 1号H=9.5m L=33.0m 2号H=9.0m L=36.9m (工期:H18~H23)	1号砂防堰堤工 H=5.0m L=33.0m 2号砂防堰堤工 H=3.0m L=17.0m	2号砂防堰堤工 H=6.0m L=36.9m	2号砂防堰堤工 H=6.0m L=36.9m	必要性 A	91%	計画どおり進んでいる。H22は1号堰堤が完了すると共に、2号堰堤に着手し、H23は引き続き2号堰堤の進捗を図る。	中流部での渓岸浸食及び山腹崩壊による土砂流出により、緩勾配となった下流部では渓流内への土砂堆積が著しく河道閉塞等の懸念がされることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要であり、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
		4億4000万円	1億9790万円	4000万円	4000万円	重要性 A	特記事項 1号堰堤:H21~H22					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=271.66					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
51	うらさわ 裏沢 やましんでん 山新田 (長野市)	(本川) 砂防堰堤 2基 上流堰堤工 H=13.0m L=70m 下流堰堤工 H=13.5 L=80.0m (支川) 砂防堰堤 3基 1号H=5.5m L=23.0m 2号H=5.0m L=20.0m 3号H=7.0m L=39.0m 床固工 2基 (工期:H13~H26)	本川上流堰堤 1基 H=2.0m L=35.0m	本川上流堰堤 1基 H=3.0m L=50.0m	本川堰堤工 2基 上流堰堤工 H=11.0m L=70.0m 下流堰堤工 H=13.5m L=80.0m	必要性 A	44%	計画どおり進んでいる。H23はH22に引き続き本川上流堰堤の進捗を図る。	流域には、不安定な堆積物が多く、次期出水により土石流発生の危険性が高い。保全対象には、災害時要援護者施設(重要)もあり早急な土砂災害対策が必要である。	必要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		8億4080万円	6000万円	8000万円	4億7459万3千円	重要性 B	特記事項 H21 環境調査結果により貴重種が確認されたため、本川上流堰堤の設計変更を行った。 支川 砂防堰堤工 3基:H13~H17					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=10.70					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
52	たこかわ 田子川 たこ 田子 (長野市)	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=75m (工期:H22~H25)	測量・設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式 工事用道路工 L=170m	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=75.0m	必要性 A	6%	計画どおり進んでいる。詳細設計が完了し、H23から用地補償及び工事用道路に着手する。	当流域は、荒廃が進み、倒木も非常に多い状況である。未整備溪流でもあり、次期降雨により土砂、流木の流出が懸念され、保全対象に災害時要援護者施設もあることから早急な土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		3億円	1900万円	4000万円	2億8100万円	重要性 B	特記事項 特になし。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=10.30					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防)			補助・単独別	補助	建設部	砂防課
----	--------	----------	----------------	--	--	--------	----	-----	-----

番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
53	つがらたわ 粒良田沢 やまぶせ 山布施 (長野市)	砂防堰堤工1基 H=8.0m L=49.0m (工期:H21~H24)	砂防堰堤工1基 H=4.0m L=37.4m	砂防堰堤工1基 H=4.0m L=49.0m	砂防堰堤工1基 H=4.0m L=49.0m 前処理工	必要性 A	45%	引き続き砂防堰堤工を実施し、進捗を図る。	平成16年10月の台風23号時には土砂が流出しており、また溪流沿いは浸食崩壊が見られ、渓床堆積物も多いため、次期出水により下流保全対象の被災が懸念される。そのため、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		1億4000万円	5000万円	5000万円	7700万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=6.85				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
54	かにまわ 蟹沢 よしわら 吉原 (長野市)	砂防堰堤工2基 1号H=11m L=36m 2号H=10m L=68m 溪流保全工 護岸工L=240m (工期:H21~H26)	用地測量 1式 用地補償 1式	1号砂防堰堤工 H=6.0m L=28.0m	砂防堰堤工2基 1号H=11m L=36m 2号H=10m L=68m 溪流保全工 護岸工L=240m	必要性 A	9%	計画どおり進んでいる。 H23は1号堰堤工事に着手する。	当流域は、荒廃が激しく、渓床に多くの倒木と不安定な渓床堆積物が存在し、次期降雨による土砂流出の危険性が高い。さらに、溪流保全工計画区間は天井川となっており、土砂流出時には被害を拡大させることが予想される。下流保全対象の安定のため、早急な土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」
		4億円	2000万円	4800万円	3億6320万円	重要性 A	特記事項 中流部は天井川となっており、抜本的対策として天井川対策の溪流保全工の整備が必要である。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=8.84				
						緊急性 A	住民参加状況等 吉原地区住民より、地区内の砂防施設や土砂流出など、積極的に自主監視し信更支所を通じ変状報告がある。				
55	おかだがわ 岡田川 おかだ 岡田 (長野市)	砂防堰堤工 2基 1号砂防堰堤工(災 関) H=12.0mL=43.0m 2号砂防堰堤工(通 常) H=11.0m L=35.0m 溪畔林整備 A=2,000m2 (工期:H22~H27)	1号砂防堰堤工 (災関) H=12.0mL=43.0m	2号堰堤設計・調 査1式 用地測量 1式 用地買収 1式	2号砂防堰堤工 H=11.0m L=35.0m 溪畔林整備 A=2,000m2	必要性 A	59%	H22に災害発生により災関砂防堰堤を実施し、H23は2号砂防堰堤工の詳細設計に着手する。	当流域は、非常に脆弱な地質で平成16年、平成18年の降雨により著しく荒廃が進んでいる。下流域への掃流土砂による河積阻害が著しく、平成22年にも土砂流出が発生し、下流保全対象家屋に被害をもたらしたため、災害関連緊急砂防事業で堰堤を設置した。しかし、未だ不安定土砂が堆積している状態であり通常事業にて土砂災害対策を行う必要がある。	必要性が高く、重要性も認められる。	「継続」
		3億4000万円	2億950万円	1500万円	1億3905万円	重要性 A	特記事項 1号堰堤:H22 災関				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.63				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名 8 砂防事業費(通常砂防)				補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
56	だん はん 段ノ原沢 こまつばら 小松原 (長野市)	砂防堰堤工 1基 H=9.0mL=61.5m (工期:H21~H24)	用地測量 1式 用地買収 1式	工事用道路 1式	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=61.5m	必要性 A	25%	計画どおり進んでいる。 H23一部工事用道路に着手する。	平成16年10月の台風23号および平成18年7月豪雨等により、山腹崩壊が進み、渓床の不安定土塊も増加している。保全対象に老人福祉施設もあることから砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 特になし。						
		効率性 A										B/C(費用対効果)=9.51
		緊急性 A										
57	かわくほ 川久保沢 たけのさ 竹房 (長野市)	砂防堰堤工 1基 H=8.0mL=44.0m (工期:H21~H24)	用地測量 1式	砂防堰堤工 H=4.0m L=38.0m	砂防堰堤工 H= 8.0m L=44.0m	必要性 A	25%	計画どおり進んでいる。 H23から砂防堰堤工に着手する。	平成16年10月の台風23号時、平成18年7月の豪雨時に山腹崩壊が進み、また渓流沿いは浸食崩壊が見られ、渓床堆積物の増加がすすんでいる。また保全対象には、保育園や緊急輸送路もあり、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 特になし。						
		効率性 A										B/C(費用対効果)=22.03
		緊急性 A										
58	たき まわ 滝の沢 しもおおか 下大岡 (長野市)	砂防堰堤工 2基 1号H= 9.0mL=41.0m 2号H=8.0mL=42.0m (工期:H20~H24)	1号砂防堰堤工 H=9.0mL=10.0m	2号砂防堰堤工 H= 2.0mL=42.0m	2号砂防堰堤工 H=8.0mL=42.0m	必要性 A	10%	計画どおり進んでいる。 H23は2号堰堤に着手する。	平成18年7月の豪雨により、流域の崩壊とともに渓岸及び渓床の浸食が進んでいるため、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 1号堰堤工:H=20~H22						
		効率性 A										B/C(費用対効果)=2.55
		緊急性 B										

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名		8 砂防事業費 (通常砂防)		補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
59	しらとりがわ 白鳥川 しらとり 白鳥 (栄村)	砂防堰堤工 1基 H = 13.5m L = 146.5 m 渓流保全工 護岸工 L = 367.0m 床固工 10基 (工期: H19 ~ H27)	工事用(管理用) 道路築造工 (JR踏切拡幅) L = 50m	工事用(管理用) 道路築造工 (JR踏切拡幅) L = 823m	砂防堰堤工 L = 146.5m H = 13.5m 渓流保全工 護岸工 L = 367.0 m 床固工 10基	必要性 A	24%	引き続き工事(JR踏切拡幅)を推進する。	本溪流は荒廃状況が著しい一方、砂防・治山施設が無く、また保全対象として重要度が高いJR線や緊急輸送路の(国)117号があり、必要性、重要性、緊急性ともに高い。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		4億円	4000万円	6000万円	3億480万円	重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.83					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
60	ひきざわ 白岐沢 ひき 白岐 (生坂村)	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=61.0m (工期: H22 ~ H25)	砂防堰堤設計 1 式 地質調査 1式 測量 1式	砂防堰堤工 1基 H=4.0m L=37.0m	砂防堰堤工 1基 H=4.0m L=37.0m 前処理 1式	必要性 A	7%	計画どおり進んでいる。 詳細設計が完了し、H23より砂防堰堤工事に着手する。	中流域に脆弱な土砂が大きく堆積しており、降雨により溪岸が浸食されている。大雨時に、この広い範囲の堆積土が立木と一緒に土石流となれば、下流の村営住宅(15件)や生活改善センター(公民館)に基大な被害を及ぼす心配があり、土砂災害対策が必要である。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」	
		2億円	1400万円	4500万円	1億8600万円	重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 A	B/C(費用対効果)=8.04					
						緊急性 A	住民参加状況等 施設完成後は、維持管理に協力願いたい旨をお願いしている。					
61	みなみあかさわ 南岡沢 なかりま 中島 (池田町)	砂防堰堤工 1基 H=8.5m L=58.0m (工期: H22 ~ H25)	砂防堰堤設計 1 式 地質調査 1式 測量 1式	付け替え道路工 L=100m	砂防堰堤工 1基 H=8.5m L=58.0m	必要性 A	12%	計画どおり進んでいる。 H22は詳細設計が完了し、H23は付け替え道路工に着手する。	当流域の地質は脆弱であり、荒廃も激しい。溪流内には多くの不安定土砂と倒木が存在する。保全対象には、人家52戸と、避難所、水道施設があり砂防堰堤による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		1億2000万円	1400万円	3000万円	1億600万円	重要性 A						特記事項 特になし。
						効率性 A	B/C(費用対効果)=27.07					
						緊急性 A	住民参加状況等 施設完成後は、維持管理に協力願いたい旨をお願いしている。					

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防)		補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
62	しょうきんざわ 生金沢 くまがた 駒の入 (筑北村)	砂防堰堤工 3基 本川 1号H= 9.0mL=34.0m 2号 H=12.5mL=115.3m 渓流保全工 護岸工L=419m 床固工10基 支川 1号(災関) H= 8.0mL=50.0m 渓流保全工 護岸工L=293.7m 床固工 6基 〔工期:H16～H26〕	渓流保全工 護岸工L=150m 床固工3基	渓流保全工 護岸工L=180m 床固工5基	砂防堰堤工 2基 本川 1号 H=9.0mL=34.0m 2号 H=12.5mL=115.3m 渓流保全工 護岸工L=269m 床固工6基	必要性 B	41%	引き続き本川の渓流保全工の進捗を図る。	平成16年度10月の台風23号により土石流災害が発生した渓流であり、早期に整備する必要がある。	緊急性が認められる。	「継続」
		4億5000万円	6000万円	5500万円	2億6620万円	重要性 B	特記事項 支川 1号堰堤工:H16(災関) 渓流保全工:H18～H20	効率性 B/C(費用対効果)=1.19			
63	こまがた 駒形沢 こまがた 駒形 (筑北村)	砂防堰堤工 2基 1号 H= 9.0m L=44.0m 2号 H=13.0m L=53.0m 〔工期:H21～H27〕	工事用道路 L=640m 付替橋梁 1 橋	1号砂防堰堤工1 基 H= 0.0m L=36.0m	砂防堰堤工 2基 1号 H= 9.0mL= 8.0m 2号 H=13.0mL=53.0m	必要性 A	24%	工事用道路が完了し、H23から1号堰堤工に着手する。	平成16年10月の台風23号により、渓流内に大量の不安定土砂が存在しており、土石流の発生が懸念される。保全対象には緊急輸送路等もあり、砂防堰堤工による早急な対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		3億9000万円	6000万円	5500万円	2億9600万円	重要性 A	特記事項 特になし。	効率性 A B/C(費用対効果)=4.01			
64	ほそかわ 細川 どうだいら 道平 (筑北村)	砂防堰堤工 1基 H=10.5m L=68.0m 〔工期:H21～H24〕	工事用道路 L=400m	砂防堰堤工 1基 H= 0.0m L=61.0m	砂防堰堤工 1基 H=10.5m L=68.0m	必要性 A	31%	工事用道路が完了し、H23から堰堤工に着手する。	流域沿いは浸食・崩壊が見られ、また渓床の不安定土塊も増加しているため、集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念される。保全対象に避難施設もあることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		1億9000万円	4000万円	6000万円	1億3140万円	重要性 A	特記事項 特になし。	効率性 A B/C(費用対効果)=6.42			
65	きたさかいざわ 北境沢 のみそら野 (白馬村)	砂防堰堤工 1基 H=12.0m L=73.0m 〔工期:H19～H24〕	砂防堰堤工 H=2.0 m L=73.0m	砂防堰堤工 H=0.0 m L=25.0m	砂防堰堤工 1基 H=0.0 m L=25.0m 前庭処理工 1式	必要性 B	70%	H23は引き続き堰堤工の進捗を図る。	流域には山腹崩壊が見られるとともに、地質的にも脆弱な地域であり、集中豪雨等による土石流の発生、また雪崩による被害も予想されることから、雪対策も考慮しつつ、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策を必要とする。	予定工期内の完了を図る。	「継続」
		2億9880万円	4000万円	2000万円	9000万円	重要性 A	特記事項 特になし。	効率性 A B/C(費用対効果)=2.38			

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課					
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針				
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況							
66	かいどう砂 海道沢 ほりのうち 堀之内 (白馬村)	砂防堰堤工 3基 1号 H=6.0m L=48.0m 2号 H=8.0m L=36.0m 3号 H=10.0 m L=66.0m (工期: H20 ~ H24)	2号堰堤工 H=8.0m L=36.0m	3号堰堤工 H=0.0m L=50.0m	砂防堰堤工 2基 1号 H=6.0m L=48.0m 3号 H=10.0mL=66.0m	必要性 A	51%	計画どおり進んでいる。 2号堰堤が完了し、3号堰堤に着手する。	平成18年の融雪及び7月豪雨の影響により、流域の崩壊とともに倒木が発生しているため、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」				
		(工期: H20 ~ H24)										重要性 A	特記事項 2号堰堤: H21 ~ H22		
		3億4000万円			7000万円	5000万円						1億6630万円		効率性 A	B/C(費用対効果)=1.88
														緊急性 A	住民参加状況等 地域の方々との連携を図り、砂防えん堤、流域周辺の崩壊地状況に異常が認められた際の連絡体制の確立を目指していく。
67	にしひがしはらさわ 西東原沢 の だいら 野平 (白馬村)	砂防堰堤工 2基 西東原沢 H=8.0mL=48.5m 沢尻沢 H=6.0mL=76.0m (工期: H21 ~ H25)	西東原沢 基礎処理工 1式	西東原沢 砂防堰堤工 H=8.0m L=48.5m	砂防堰堤工 2基 西東原沢 H=8.0mL=48.5m 沢尻沢 H=6.0mL=76.0m	必要性 A	26%	西東原沢砂防堰堤基礎処理が完了し、砂防堰堤工に着手する。	流域には山腹崩壊が見られるとともに、地質的にも脆弱な地域であり、近年の降雨により渓床の不安定土塊が増加していることから、集中豪雨等による土石流の発生が懸念される。保全対象には避難所もあることから、砂防堰堤工による土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」				
		(工期: H21 ~ H25)										重要性 B	特記事項 特になし。		
		3億4000万円			7000万円	9500万円						2億5000万円		効率性 A	B/C(費用対効果)=3.02
														緊急性 A	住民参加状況等 地元住民による砂防施設及び流域内の点検巡視を行う体制の構築を目指したい。
68	どうろく沢 みなみやち 南谷地 (白馬村)	砂防堰堤工 2基 西沢 H=8.5m L=58.0m 東沢 H=9.5 L=51.0m 流木捕捉工 2基 路網整備 1式 (工期: H22 ~ H28)	調査、測量、設計 1式	堰堤工 西沢 H=4.0m L=30.0m	砂防堰堤工 2基 西沢 H=8.5m L=58.0m 東沢 H=9.5 L=51.0m 流木捕捉工 2基 路網整備 1式	必要性 A	2%	計画どおり進んでいる。 詳細設計が完了し、H23は堰堤工に着手する。	当流域は、地質が脆弱で渓岸浸食の発生、不安定な渓床堆積物や倒木が多く、次期降雨による土砂流出が懸念される。保全対象には、地域の幹線道路である白馬美麻線もあり、災害時には広域的な影響が予想され、速やかな土砂災害対策が必要である。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」				
		(工期: H22 ~ H28)										重要性 A	特記事項 流域内の希少種等の環境調査を行いながら、砂防堰堤工に着手する。		
		5億8000万円			1400万円	4000万円						5億6600万円		効率性 B	B/C(費用対効果)=1.10
														緊急性 A	住民参加状況等 山林内の既存路網を整備し山林の管理等に活用していく。
69	しみずまわがわ 清水沢川 たて 立の間 (白馬村)	砂防堰堤工 1基 H=10.5m L=57.0m 土石流堆積工 1基 H=6.9m L=30.0m (工期: H21 ~ H26)	調査、測量、設計 1式	用地測量 1式 用地・補償 1式 管理用道路工 L=340m	砂防堰堤工 1基 H=10.5m L=57.0m 土石流堆積工 1基 H=6.9m L=30.0m	必要性 B	27%	詳細設計が完了し、砂防堰堤工の管理用道路工に着手する。	当流域は、平成7年に土砂流出が発生しており、その後も流域の荒廃は著しい。渓床には不安定な土砂が多く堆積し、次期降雨による土砂流出の危険性が高い。土砂流出の際には集落の孤立化が容易に予測されるため早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」				
		(工期: H21 ~ H26)										重要性 A	特記事項 特になし。		
		3億5000万円			1100万円	6600万円						2億5378万円		効率性 B	B/C(費用対効果)=1.45
														緊急性 A	住民参加状況等 特になし。

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防)			補助・単独別	補助	建設部 砂防課
----	--------	----------	---------------	--	--	--------	----	---------

番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
70	どろさわ 堂の沢 むしお 虫尾 (小谷村)	砂防えん堤工2基 堂の沢 砂防堰堤 H8.0mL50.0m 渓流保全工 床固工1基 護岸工L=70m 日土沢 砂防堰堤 H=6.5mL=55.0m (工期:H21~H25)	用地補償 1式	堂の沢 砂防堰堤 H=4.0 L=45.0m	砂防えん堤工2基 堂の沢 砂防堰堤 H8.0mL50.0m 渓流保全工 床固工1基 護岸工L=70m 日土沢 砂防堰堤 H=6.5mL=55.0m	必要性 A	10%	引き続き用地補償を行い、堂の沢砂防堰堤工に着手する。	渓流沿いは浸食・崩壊が見られ、また溪床の不安定土塊も増加しているため、集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念される。保全対象に緊急輸送路や避難施設もあることから、砂防えん堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		重要性 A				特記事項 特になし。					
		効率性 A				B/C(費用対効果)=2.99					
		緊急性 A				住民参加状況等 特になし。					
71	みなみくろかわさわ 南黒川沢 (くろかわ 黒川 (小谷村)	砂防堰堤工1基 H11.5m L67m (工期:H21~H25)	砂防堰堤工 H=4.0m L=30.0m	砂防堰堤工 H=4.0m L=50.0m	砂防堰堤工 H=7.5m L=67m	必要性 B	29%	引き続き堰堤工事を推進する。	流域には山腹崩壊が見られるとともに、地質的にも脆弱な地域であり、近年の降雨により溪床の不安定土塊が増加していることから、集中豪雨等による土石流の発生が懸念される。保全対象には避難所もあることから、砂防えん堤工による土砂災害対策が必要である。	緊急性が高い。	「継続」
		重要性 B				特記事項 特になし。					
		効率性 A				B/C(費用対効果)=1.62					
		緊急性 A				住民参加状況等 地域の方々との連携を図り、砂防えん堤、流域周辺の崩壊地状況に異常が認められた際の連絡体制の確立を目指していく。					
72	くろきさわ 黒木沢 ながさき 長崎 (小谷村)	砂防堰堤工 2基 新設堰堤 H=11.5m、L=58.0m 既設嵩上げ H=1.5m、L=43.0m 山腹工 A = 5,000m2 (工期:H17~H24)	山腹工 A=3,000m2	既設嵩上げ H=1.5m、 L=43.0m	既設嵩上げ H=1.5m L=43.0m 前庭保護工 1式 山腹工 A = 2,000m2	必要性 B	71%	新設堰堤工事が完了し、既設堰堤嵩上げ工に着手する。	流域には山腹崩壊が見られるとともに、地質的にも脆弱な地域であり、かつ地すべり地形である。近年の降雨により溪床の不安定土塊が増加していることから、集中豪雨等による土石流の発生が懸念される。保全対象には重要道路の県道である避難経路があり、砂防えん堤工による土砂災害対策が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		重要性 A				特記事項 H22変更:山腹工3,200m2増 新設堰堤工:H17~H22					
		効率性 B				B/C(費用対効果)=1.03					
		緊急性 A				住民参加状況等 地域の方々との連携を図り、砂防えん堤、流域周辺の崩壊地状況に異常が認められた際の連絡体制の確立を目指していく。					

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防)			補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
73	みやざわ 宮沢 おおぞうれん 大草連 (小谷村)	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=73.0m 〔工期：H21～H28〕	調査、測量、設計 1式	用地測量 1式 用地・補償 1式 工事用道路工 L=2100m	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=73.0m	必要性 B	9%	詳細設計が完了し、工事用道路工に着手する。	当流域は、脆弱な地質の為、荒廃が激しく、渓岸の崩壊、渓床の不安定な堆積物が多く存在する。次期降雨による土砂流出の可能性が高いことから、地域の孤立化防止対策を含め早急な土砂災害対策が必要である。	重要性、緊急性が高い。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 特になし。						
		効率性 A										B/C(費用対効果)=1.65
		緊急性 A										
74	やくしきわ 薬師沢 いなあか 稲丘 (小川村)	砂防堰堤工3基 1号 H=14.5m L=42.6m 2号 H=9.5m L=39.0m 3号 H=9.0m L=52.5m 〔工期：H21～H26〕	用地測量 1式 用地補償 1式 仮設道路工 1式	1号堰堤工 H=5.5m L=28.0m	砂防堰堤工3基 1号 H=14.5m L=42.6m 2号 H=9.5m L=39.0m 3号 H=9.0m L=52.5m	必要性 C	10%	計画どおり進んでいる。用地補償が完了し、1号堰堤工に着手する。	当流域は、脆弱な地質により荒廃が激しく、不安定な渓床堆積物と倒木が多く、降雨による土砂流出が懸念される。保全対象には、避難所、水道施設、薬師温泉等があり、災害時の地域に与える影響は大きく、早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		重要性 A				特記事項 周辺砂防施設は登録有形文化材の指定を受けており、地域ぐるみでの保全活動を実施している。						
		効率性 A										B/C(費用対効果)=2.09
		緊急性 A										
合計	74箇所	299億7873万1千円	34億60万円	34億3700万円	168億6853万3千円		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満					

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(火山砂防)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
1	ふりがな 箇所名 しのみわ 下宮入沢 みやまゑ 宮前 (佐久穂町)	砂防堰堤工 1基 H = 8.0m L = 50.0m (工期: H20 ~ H23)	砂防堰堤工 H = 6.0m L = 35.0m	砂防堰堤工 H = 2.0m L = 50.0m	砂防堰堤工 H = 2.0m L = 50.0m	必要性 A	53%	計画どおり進んでいる。 H22は砂防堰堤工に着手し、H23は事業完了 を目指す。	近年の降雨により溪床の不安定土塊も増加してきているため、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要であり、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 特になし。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=39.96					
			1億4780万円	6000万円	2000万円	7000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
2	とかげまわ 戸陰沢 ほまき 窪城 (長和町)	砂防堰堤工 2基 1号(戸陰沢) H=14.5m L=89.4m 2号(楡木川) H=13.0m L=73.0m (工期: H13 ~ H23)	2号砂防堰堤工 H=0.0m, L=73.0m	2号砂防堰堤工 H=3.0m, L=18.0m	2号砂防堰堤工 H=3.0m, L=18.0m	必要性 A	98%	計画どおり進んでいる。 2号堰堤工事を進捗する。	流域には、溪床に不安定な土砂が多く堆積しており、降雨時の土砂流出が懸念されるため、必要性は高い。保全対象には医療機関があり、公共施設も多いため早期の土砂災害対策が必要であり、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 1号堰堤工: H13 ~ H19					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=11.00					
			5億9659万6千円	6000万円	2000万円	1000万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
3	おおないかわ 大内川 きたこや 北古屋 (長和町)	砂防堰堤工 1基 H=9.5m L=49.0m 床固工 1基 (工期: H20 ~ H24)	砂防堰堤工 H=9.5m L=49.0m	床固工 1基	砂防堰堤工 H=3.0m L=44.0m 床固工	必要性 A	62%	計画どおり進んでいる。 H22に砂防堰堤工が完了し、H23は床固工に 着手する。	溪床も急峻で下流には災害時要援護者施設(重要施設)もあることから、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 砂防堰堤工: H22					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=17.07					
			3億円	8500万円	7000万円	1億1500万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
4	こべどう 小別堂 まなた 真田 (上田市)	砂防堰堤工1基 H=9.5m L=72.0m 土石流堆積工 H=4.0m L=100.0m (工期: H21 ~ H25)	測量設計 1式	用地測量 1式 用補 1式 工事用道路 L=500m	砂防堰堤工 H=9.5m L=72.0m 土石流堆積工 H=4.0m L=100.0m	必要性 A	11%	H22は付け替え林道の測量設計が完了し、 H23は工事用道路工に着手する。	渓流沿いは浸食・崩壊が見られ、また溪床の不安定土塊も増加しているため、集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念される。保全対象に小学校や避難路もあり、砂防えん堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 特になし。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=24.52					
			3億5000万円	2000万円	4000万円	3億1000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(火山砂防)				補助・単独別	補助	建設部	砂防課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
5	いけきわがわ 池の沢川 ひがしおおたき 東大滝 (野沢温泉村)	砂防堰堤工 2基 1号 H=9.5m L=78m 2号 H=12m L=60m (工期: H20 ~ H24)	1号砂防堰堤工 H=9.5m L=78m	1号砂防堰堤工 H=9.5m L=78m	1号砂防堰堤工 H=9.5m L=78m 2号砂防堰堤工 H=12m L=60m	必要性 A	37%	計画どおり進んでいる。 引き続き砂防堰堤工事を推進する。	平成17年8月の豪雨により、流域の荒廃、 渓岸及び渓床の浸食が 進み、その後の融雪、 降雪、降雨等により更に 拡大進行してきているため、 砂防堰堤工等による 早急な土砂災害対策が必要 である。	重要性が高く、必要性、 緊急性も認められる。	「継続」
		5億円	1億円	3000万円	3億1370万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.72				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
6	よませがわ 夜間瀬川 しし越 (中野市)	渓流保全工 護岸工 L=3,000m 床固工 10基 (工期: H12 ~ H27)	床固工1基	床固工 1基	渓流保全工 L=1300m 床固工 4基	必要性 A	78%	計画どおり進んでいる。 H23はチョウゲンボウ2号床固工が完了予定。	多数の人家や公共施設等の 保全対象があり、必要性は 高く、地形、地質といった 災害要因からも早急な土砂 災害対策が必要である。	必要性、重要性が高い。	「継続」
		25億3680万円	1億4000万円	3000万円	5億7000万円	重要性 A	特記事項 床固工 5基: H12 ~ H16 渓流保全工 L=1,500m: H12 ~ H16				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=4.86				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
7	にしわくいざわ 西涌井沢 わくい 涌井 (中野市)	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=41.0m (工期: H21 ~ H25)	用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工 1基 H=3.0m L=24.0m	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=41.0m	必要性 A	20%	H23は一部工事に着手予定	近年の降雨により、 渓岸浸食がすすみ、倒木も 多数見受けられる。保全 対象には緊急輸送路もあり、 砂防堰堤工による速やかな 土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が 認められる。	「継続」
		2億円	2000万円	1億円	1億6050万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=16.84				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
8	よこゆがわ 横湯川 おちあい 落合 (山ノ内町)	砂防えん堤工3基 新仏岩1号えん堤 H=14.5m L=97.0m 新仏岩2号えん堤 H=14.5m L=55.0m 新落合えん堤 H=11.0m L=85.0m 一の沢山腹工 A=1.3ha (工期: H12 ~ H29)	新仏岩1号 堰堤工 H=1.0m L=40.0m	新仏岩1号 堰堤工 H=3.0m L=50.0m	砂防えん堤工3基 新仏岩1号えん堤 H=4.0m L=97.0m 新仏岩2号えん堤 H=14.5m L=55.0m 新落合えん堤 H=11.0m L=85.0m	必要性 A	21%	計画どおり進んでいる。 引き続き堰堤工の進捗を図る。	多数の人家や公共施設等の 保全対象があり、必要性は 高い。また、災害履歴もあり 地域要望も高いため砂防 堰堤工による速やかな土砂 災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性も 認められる。	「継続」
		23億8660万円	8000万円	1億3100万円	18億9510万円	重要性 A	特記事項 H22計画変更: 詳細設計、 事業費3億1千4百万円減。 工期5年増。 一の沢山腹工: H12 ~ H20				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.61				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(火山砂防)			補助・単独別	補助	建設部 砂防課			
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
9	せきかわ 関川 たかさわ 高沢 (信濃町)	溪流保全工 護岸工 L=710m 床固工 1基 帯工 16基 (工期:H20～H24)	溪流保全工 護岸工L=140m	溪流保全工 護岸工L=160m	溪流保全工 護岸工L=530m 床固工 1基 帯工 16基	必要性 A	30%	計画どおり進んでいる。 H23は引き続き溪流保全工の整備を行う。	平成7年7月豪雨に対する施設整備の一環として、新潟県と歩調を合わせて取り組む必要がある。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 新潟県と事業進捗調整をしつつ、効率的な事業実施を行っている。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=19.51				
			2億5000万円	4000万円	5700万円	1億7430万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。			
10	あおきわ 大和沢 あお 大和 (諏訪市)	砂防堰堤工 1基 H=12.5mL=64.5m (工期:H14～H23)	前堤保護工 1式	前堤保護工 1式	前堤保護工 1式	必要性 A	90%	計画どおり進んでいる。 砂防堰堤工が完成し、残りの前堤保護工を引き続き実施する。	災害時要援護者施設、多くの人家、重要交通施設(国道20号、JR中央本線)が保全対象であることから必要性は高く、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
						重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=34.92				
			3億183万円	4000万円	3000万円	3000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。			
11	せしほんき 千本木川 あお 大和 (諏訪市)	砂防堰堤工2基 1号H=14.0mL=110m 2号H=12.5mL=90m (工期:H22～H26)	測量 1式 地質調査 1式 詳細設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工2基 1号 H=14.0mL=110m 2号 H=12.5mL=90m	必要性 A	7%	計画どおり進んでいる。 H22は詳細設計が完了し、H23は用地測量及び用地補償に着手する。	保全対象には多くの人家と、JR、国道20号があり災害地の地域への影響が大きいことから速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=61.84				
			4億2000万円	2000万円	1700万円	4億円	重要性 A	住民参加状況等 特になし。			
合計	11箇所	79億8962万6千円	6億6500万円	5億4500万円	40億4860万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満			

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名	8 砂防事業費(総合流域防災)		補助・単独別	補助	建設部	砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
1	こい沢 みどりがおか 緑ヶ丘 (上田市)	砂防堰堤工 1基 H=9.5m L=61.0m (工期:H21~H25)	用地測量 1式 用地補償 1式	用地補償 1式	砂防堰堤工 H=9.5m L=61.0m	必要性 A	12%	引き続き用地補償の推進を図る。	平成16年10月の台風23号また、その後の降雨により流域の崩壊が進んでおり、渓床の不安定土塊も増加しており、集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念されることから、砂防えん堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		3億5000万円	2200万円	1000万円	3億650万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=8.27				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
2	ようかまちわ 八日町沢 ようかまち 八日町 (上田市)	砂防堰堤工 1基 H=6.5mL=93.5m (工期:H21~H24)	用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工 H=1.0m L=22.0m	砂防堰堤工 H=6.5m L=93.5m	必要性 A	19%	計画どおり進んでいる。 H22は用地補償を行い、H23は堰堤工に着手する。	近年の降雨により渓岸侵食がすすみ、渓床の不安定土塊も増加しており、土石流の発生が懸念される。保全対象に幼稚園や小学校等もあり、砂防えん堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
		2億5000万円	2800万円	3000万円	2億200万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=47.07				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
3	いちかわ 市の川 いちかわ 市野川 (麻績村)	砂防堰堤工 1基 H=10.5m L=48.0m 溪流保全工 護岸工L=101.5m 床固工3基 (工期:H20~H23)	砂防堰堤工 1基 H=4.0m L=30.0m 溪流保全工 護岸工L=101.5m 床固工3基	砂防堰堤工 1基 H=6.5m L=38.4m	砂防堰堤工 1基 H=6.5m L=38.4m	必要性 A	75%	計画どおり進んでいる。 砂防堰堤工を推進し、H23完了を図る。	平成16年10月の台風23号により、渓岸侵食が進み、渓床の不安定な堆積物が多く、土石流の発生が懸念されることから、砂防えん堤工による早急な土砂災害対策が必要であり、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		2億8538万4千円	9000万円	9000万円	7000万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=5.71				
						緊急性 B	住民参加状況等 砂防ボランティア等による草刈り等、維持管理に対して積極的に取り組んでいる。				

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(総合流域防災)				補助・単独別	補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
4	いぬたぎりかわ 犬田切川 にしほろちか 西春近 (伊那市)	犬田切川本川 渓流保全工 護岸工L=1,200m 床固工3基 犬田切川支流白沢沢 砂防堰堤工 H=13mL=98m 渓流保全工 護岸工L=274m 床固工7基 (工期:H9~H23)	砂防堰堤工 H=4.0m,L=66.5m, 前庭保護工 1式 渓流保全工 護岸工L=100m 床固工2基	渓流保全工 護岸工L=174m 床固工5基	渓流保全工 護岸工L=174m 床固工5基	必要性 A	92%	計画どおり進んでいる。 H22は本堤工が完了し、H23は引き続き渓流 保全工の進捗を図る。	流域は荒廃しており、 人家74戸、国道153 号、JR飯田線、中央自 動車道などを保全する ことから、事業の必要 性は高く、H23完了を 図る。	平成23年度での完了 を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 犬田切川 床固工3基、渓流保全工1,200m:H9~H17 支川白沢沢 砂防堰堤工:H18~H22				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.21				
			9億3200万円	1億円	8000万円	7000万円	緊急性 A	住民参加状況等 維持管理をボランティアや地元と取り組む体制整備を進めている。			
合計	4箇所	18億1738万4千円	2億4000万円	2億1000万円	6億4850万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満			

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(特定緊急砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
1	なかの(みきわ) 中之組沢 ほろ 洞 (青木村)	砂防堰堤工2基 (災関) 1号H=10.0m L=62.0m 2号H=8.0m L=54.0m (特緊) 渓流保全工 護岸工L=250m (工期:H22~H23)	砂防堰堤工2基 1号 H=10.0mL=62.0m 2号 H=8.0m L=54.0m	渓流保全工 護岸工L=250m	渓流保全工 護岸工L=250m	必要性 A	78%	計画どおり進んでいる。 災関堰堤2基が完了し、渓流保全工に着手する。	平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、下流域の民家8戸に被害を与えた。渓流内には不安定土砂が堆積しており、次期集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念されることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要であり、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		3億2344万円	2億5344万円	7000万円	7000万円	重要性 A	特記事項 H22災害関連緊急砂防事業採択 1号堰堤:H22(災関) 2号堰堤:H22(災関)				
		A	B/C(費用対効果)=1.82		効率性 A	住民参加状況等 特になし。					
		A	緊急性 A								
2	ならあがわ 奈良尾川 ならあ 奈良尾 (青木村)	砂防堰堤工 2基 (災関) 1号H=9m L=54.5m (特緊) 2号H=10m L=52.5m 山腹工 A=300m2 (工期:H22~H23)	1号砂防堰堤工 H=9m L=54.5m	2号砂防堰堤工 H=10m L=52.5m 山腹工 A=300m2	2号砂防堰堤工 H=10m L=52.5m 山腹工 A=300m2	必要性 B	50%	計画どおり進んでいる。 1号堰堤が完了し、2号堰堤に着手する。	平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、下流域の国道143が通行止めになる被害を与えた。渓流内には不安定土砂が堆積しており、次期集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念されることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要であり、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		2億2088万円	1億1088万円	1億1000万円	1億1000万円	重要性 A	特記事項 H22災害関連緊急砂防事業採択 1号堰堤:H22(災関)				
		B	B/C(費用対効果)=1.03		効率性 B	住民参加状況等 特になし。					
		A	緊急性 A								
3	よこて きわ 横手ノ沢 こまゆみじんじや 子檀嶺神社 うえ 上 (青木村)	砂防堰堤工 2基 (災関) 1号H=7m L=24m (特緊) 2号H=10m L=30m 渓流保全工 護岸工L=80m (工期:H22~H24)	1号砂防堰堤工 H=7m L=24m	渓流保全工 護岸工L=80m	2号砂防堰堤工 H=10m L=30m 渓流保全工 護岸工L=80m	必要性 A	41%	計画どおり進んでいる。 1号堰堤が完了し、渓流保全工に着手する。	平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、下流域の民家1戸及び県道へ被害を与えた。渓流内には不安定土砂が堆積しており、次期集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念されることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		1億6912万円	6912万円	2000万円	1億円	重要性 A	特記事項 H22災害関連緊急砂防事業採択 1号堰堤:H22(災関)				
		A	B/C(費用対効果)=4.50		効率性 A	住民参加状況等 特になし。					
		A	緊急性 A								
4	ごんげんまわかわ 権現沢川 おお(まうえ) 大熊上 (諏訪市)	砂防堰堤工 2基 1号H=12.5mL=66.0m 2号H= 8.0mL=69.0m (工期:H21~H23)	2号砂防堰堤工 H=12.5mL=66.0m 付替道路 L=160m	付替道路 L=500m	付替道路 L=500m	必要性 A	85%	計画どおり進んでいる。 2号堰堤が完了し、付替道路工に着手する。	平成21年8月の台風9号による土石流災害の復旧工事であり、砂防えん堤工による速やかな土砂災害対策が必要であり、H23完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		6億5000万円	1億9500万円	2175万円	1億円	重要性 A	特記事項 平成21年8月台風9号において土石流が発生。治山事業と事業調整を図っている。 1号堰堤:H21(災関) 2号堰堤:H22(特緊)				
		A	B/C(費用対効果)=12.39		効率性 A	住民参加状況等 特になし。					
		A	緊急性 A								

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(特定緊急砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
5	あなやまがわ 穴山川 さわぞこ 沢底 (辰野町)	砂防堰堤工 2基 1号(災関) H=9.0mL=62.0m 2号(特緊) H=7.0mL=34.0m [工期:H21~H24]	2号砂防堰堤 付替え道路工 L=90m	2号砂防堰堤工 H=7.0mL=34.0m	2号砂防堰堤工 H=7.0mL=34.0m	必要性 A	62%	計画どおり進んでいる。 H22に2号堰堤付替道路が完了し、H23に2号 堰堤に着手する。	平成21年8月の豪雨による土石流災害の復 旧工事であり、砂防堰 堤工による速やかな 土砂災害対策が必要 である。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」	
					重要性 A	特記事項 H21年度8月台風9号により、土砂が流出したことから、1号堰堤 工は、H21災関対応、2号堰堤工はH22~23特緊対応、1号堰堤 付替え道路と3号堰堤は通常対応とする。						
					効率性 A	1号堰堤:H21(災関) B/C(費用対効果)=3.90						
		3億1000万円	3000万円	7925万円	1億1800万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
6	こくすかわ 小楠川 かみくすかわ 上楠川 (長野市)	砂防堰堤工 2基 1号(災関) H=13.0mL=55m 2号(特緊) H=14.5mL=64m 渓流保全工 護岸工L=275m 床固工 11基 [工期:H21~H24]	測量・設計 1式 地質調査 1式 用地補償 1式	1号砂防堰堤 前庭工 L=44.7m W=9.9m 渓流保全工 L=140m 床固工 6基	1号砂防堰堤前庭 工 L=44.7m W=9.9m 2号砂防堰堤工 H=14.5m L=64m 渓流保全工 護岸工L=275m 床固工 11基	必要性 A	41%	計画どおり進んでいる。 H22は2号堰堤の詳細設計と渓流保全工の用 地補償が完了し、H23より渓流保全工に着手 する。	当流域は、平成21年8 月の豪雨により土石 流災害が発生し、人家 1戸が被災した。また、 上流域には、大量の 不安定土砂が堆積し ており、次期降雨によ り土砂、流木の流出が 懸念されていることか ら早急な土砂災害対 策が必要である。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」	
					重要性 A	特記事項 H21年度8月台風9号により、土砂流出が発生し、災害関連緊急 砂防によって対応した。 1号堰堤:災関H21着手						
					効率性 A	B/C(費用対効果)=2.90						
		5億7528万円	4700万円	1億2900万円	3億4000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
7	やまだまわ 山田沢 あかだ 赤田 (長野市)	砂防堰堤工 1基 (災関) H=7.0m L=54m (特緊) 渓流保全工 護岸工L=220m [工期:H22~H24]	砂防堰堤工1基 H=7.0m L=54m	渓流保全工 護岸工L=100m	渓流保全工 護岸工L=220m	必要性 B	44%	計画どおり進んでいる。 砂防堰堤工が完了し、渓流保全工に着手す る。	平成22年7月の梅雨前 線豪雨により土石流 が発生し、下流域の民 家1戸及び県道が被災 した。渓流内には不安 定土砂が堆積しており、 次期集中豪雨等に より土石流、流木の発 生が懸念されることか ら、砂防堰堤工による 速やかな土砂災害対 策が必要である。	重要性が高く、緊急 性も認められる。	「継続」	
					重要性 A	特記事項 H22災害関連緊急砂防事業採択 砂防堰堤:H22(災関)						
					効率性 A	B/C(費用対効果)=3.52						
		1億7776万円	7776万円	6000万円	1億円	緊急性 A	住民参加状況等 計画、維持管理について、地元住民と協議により進める。					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(特定緊急砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
8	いまいづみさわ 今泉沢 いまいづみ 今泉 (長野市)	砂防堰堤工1基 (災関) H=10.0m L=56m	砂防堰堤工1基 H=10.0m L=56m	渓流保全工 護岸工L=100m 床固工3基	渓流保全工 護岸工L=240m 床固工10基	必要性 B	49%	計画どおり進んでいる。 砂防堰堤工が完了し、渓流保全工に着手する。	平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、下流域の市道が埋塞し通行止めになる被害を与えた。渓流内には不安定土砂が堆積しており、次期集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念され、保全人家等に被害を与える懸念が高いことから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	緊急性が認められる。	「継続」	
		重要性 B				特記事項 H22災害関連緊急砂防事業採択 砂防堰堤・H22(災関)						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=1.52						
		緊急性 A				住民参加状況等 計画、維持管理について、地元住民と協議により進める。						
9	さみずさわ 三水沢 さみず 三水 (長野市)	砂防堰堤工1基 (災関) H=11.0m L=128m	砂防堰堤工1基 H=11.0m L=128m	渓流保全工 護岸工 L=80m 床固工 2基	渓流保全工 護岸工L=150m 床固工 6基	必要性 B	65%	計画どおり進んでいる。 砂防堰堤工が完了し、渓流保全工に着手する。	平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、下流域の民家1戸及び県道が被災した。渓流内には不安定土砂が堆積しており、次期集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念されることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	緊急性が認められる。	「継続」	
		重要性 B				特記事項 H22災害関連緊急砂防事業採択 砂防堰堤・H22(災関)						
		効率性 B				B/C(費用対効果)=1.10						
		緊急性 A				住民参加状況等 計画、維持管理について、地元住民と協議により進める。						
10	かわくぼさわ 川久保沢 さみず 三水 (長野市)	砂防堰堤工1基 (災関) H=13.0m L=112m	砂防堰堤工1基 H=13.0m L=112m	渓流保全工 護岸工 L=80m 床固工 2基	渓流保全工 護岸工L=250m 床固工 5基	必要性 B	55%	計画どおり進んでいる。 砂防堰堤工が完了し、渓流保全工に着手する。	平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、下流域の民家3戸に被害を与え、県道も被災し約2ヶ月間通行止めとなった。渓流内には不安定土砂が堆積しており、次期集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念されることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	緊急性が認められる。	「継続」	
		重要性 B				特記事項 H22災害関連緊急砂防事業採択 砂防堰堤・H22(災関)						
		効率性 B				B/C(費用対効果)=1.36						
		緊急性 A				住民参加状況等 計画、維持管理について、地元住民と協議により進める。						
合計	10箇所	34億8992万円	13億9664万円	7億5300万円	13億8800万円	A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満						